

## 前立腺がんの 治療後、PSA値が 上昇しています



2013年にPSA値が17ng/mLまで上がり、生検をした結果、がんと診断されました。放射線治療を受け、退院後は3か月ごとにPSA検査を受けています。2016年の秋の最低値0.920ng/mL以降は少しずつ上がり、前回は2.733ng/mLで、今後も上昇が続きそうな予感がしますが、PSAの基準値は4.0ng/mLと聞いていますが、このまま検査を受けるだけでよいのでしょうか。今、がん細胞が増えていくということでしょうか。

● 78歳・男性



PSAとは前立腺特異抗原のこととで、健康診断の血液検査に前立腺がんの腫瘍マーカーとして追加できます。健康診断ではPSA値が4.0ng/mL以上になると、直腸診や経直腸エコー、さらには生検と呼ばれる組織検査などの精密検査を勧められるのが一般的です。ただし、PSA

値は前立腺がんだけでなく、男性の加齢に伴う排尿困難の原因となる前立腺肥大症でも上昇することがあります。そのため「前立腺がん検診ガイドライン 2018年版」では、精密検査を勧める目安の数値を年齢別に定めています<sup>\*1</sup>。また、PSA値は前立腺の炎症、バイクや自転車のサドルによる会陰部への強い圧迫、長時間の座位、射精後などで上昇するほか、尿が膀胱に充滿しているのに排尿できない状態（尿閉）でも急激に上昇することがあります。

さて、ご質問についてですが、PSA値が4.0ng/mLというのは、前立腺がんを疑って精密検査を受けるかどうかの目安の値です。したがって、放射線療法であれ、他の治療法であれ、前立腺がんの治療中、あるいは治療後の病気の状況判断の目安にはなりません。ご質問者の場合はPSAの数値より、一度下がったPSA値が右肩上がりです上昇を続けていることが問題になります。

「前立腺癌診療ガイドライン 2016年版」では、前立腺が体内に残っている放射線療法後はPSA最低値から2.0ng/mL以上上昇した場合、すでに前立腺が体内にない前立腺全摘後は0.2ng/mLを2度連続して超

えた場合は、これを「PSA再発」と呼び、泌尿器科医は前立腺がん細胞が体内のどこかで活動していると判断します。PSA再発を来したときは、PSA値の上昇カーブ（倍加時間<sup>\*2</sup>）や前立腺がん診断時の病理検査結果、年齢などを考慮しながら、局所再発や転移の有無を調べる検査（MRI検査やPET検査）を行います。その結果により、患者さんやご家族と相談して追加治療を行うかどうか、行う場合はその内容や開始時期を決めることとなります。治療には副作用もありますので、PSA再発を認めても経過観察が選択肢になることもまれではありません。

ご質問者の担当医もおそらく今、検査、治療の計画を考えておられることと思います。次回の受診時によくご相談なさるのがよいでしょう。



寺地敏郎

別府済腎泌尿器病院 名誉院長  
大分大学 特任教授 東海大学 名誉教授

てらち・としろう

1978年京都大学医学部卒業。専門は泌尿器腫瘍学、特に腹腔鏡手術、ロボット支援手術

\*1 50～64歳は3.0ng/mL以上、65～69歳は3.5ng/mL以上、70歳以上は4.0ng/mL以上。

\*2 PSA値が前の値の2倍になるまでの時間。